

広報

第 69 号



日大山形

平成30年10月1日発行

繋がるキズナ

広がる笑顔



第六一回 桜華祭

青春桜華!! キズナ咲ケ!



第六一回桜華祭が八月二五日、二六日の二日間 にわたって開催された。時折小雨が降るあいにくの天気ではあったが、テーマ「青春桜華!!」にふさわしく、キャンパスは生徒たちの明るい笑顔で溢れ、大盛況であった。今回のパンフレットの表紙は、女子生徒二人が桜華祭を楽しんでいる絵で、この絵は全国的に活躍するイラストレーターである和遥キナ氏に描いて頂いたものだ。

一日目は、演劇部や吹奏楽部による公演、生徒によるダンスの発表など



二日目は、放送部の作品上映、ダンスドリル部公演、歌に自信のある者が集うのど自慢、音楽部による日大音楽祭、毎年一番の盛り上がりを見せる男装女装コンテストなどが行われた。

二日目最後の特別文化講演会は、原宿のアパレルショップで人気を誇るおネエカリスマショップ店員で数々のテレビ番組に出演し、今メディアに引つ張りだこのべえさんを迎え行われた。講演会は生徒による質問にべえさんが答える質問形式で行われ、中には感動して泣きだしてしまう生徒も



- ステージ発表の文化部
 - 演劇部・吹奏楽部・放送部・ダンスドリル部
- 教室での発表の文化部
 - 漫画部・美術部・写真部・囲碁将棋部・英会話部・音楽部
- JRC部・書道部・生物部
- 体育館でのイベント
 - 特別文化講演会(べえさん)・アームレスリング・日大音楽祭
 - 男装女装コンテスト・のど自慢・フリーステージ
- 教室でのイベント企画
 - お化け屋敷・日大付属高校交流物産展・和遥キナ原画展
 - 図書委員会古本市・入試相談・各クラスの展示やカフェ
- 屋外の出店
 - 保護者会・女子ハンドボール・ダンスドリル部・応援団
 - 各クラス
- その他生徒会企画
 - 赤い糸・エヌドット募金

いた。べえさんの「諦めないで、自分を貫いて」という熱いメッセージや持ち前のユーモア溢れるトークで体育館は笑いと感動に包まれた。

屋外の出店では肉そばやかき氷など、一八種類一八店舗が軒を連ね、どの店舗も行列で賑わっていた。

日大山形全体が一つとなつて創り上げた今年の桜華祭。「青春桜華!!」のもと、生徒一人一人の心に刻まれるものとなった。



3年生

バスケットボール		バレーボール	
男子	女子	男子	女子
優勝 2位	優勝 2位	優勝 2位	優勝 2位
3位 3組	3位 3組	3位 3組	3位 3組
1組	1組	1組	1組

2年生

バスケットボール		バレーボール	
男子	女子	男子	女子
優勝 2位	優勝 2位	優勝 2位	優勝 2位
3位 3組	3位 3組	3位 3組	3位 3組
1組	1組	1組	1組

1年生

バスケットボール		バレーボール	
男子	女子	男子	女子
優勝 2位	優勝 2位	優勝 2位	優勝 2位
3位 3組	3位 3組	3位 3組	3位 3組
1組	1組	1組	1組

体育祭

熱き戦い

七月十一日、十二日の二日間にかけて体育祭が行われ、例年通り一年生は県体育館・二年生は本校体育館・三年生は山形市総合スポーツセンターを会場に熱戦が繰り広げられた。

防災講座 災害に備える ～地震災害から身を守る～



七月十日に本校第一体育館にて二年生を対象とした防災講座が開かれた。講師として日本赤十字社山形県支部青少年赤十字指導講師の片山款郎先生（元本校教諭）をお迎えし、「災害に備える～地震災害から身を守る～」をテーマにご講演いただいた。地震大国とも謳われる日本。近年では東日本大震災をはじめ、三陸沖地震、兵庫県淡路島地震、

熊本地震、大阪北部地震、そして今回の北海道での地震など全国各地で大地震が起きています。講演では地震のメカニズムや、地震時に特に注意が必要なことなどについて事例をもとにわかりやすく解説していただいた。改めて地震などの災害の怖さを認識し、普段からの準備がいかに大切かということがわかった。また、今現在被災地では復興作

業が行われている。ボランティアの活動等も注目され、支え合うことの大切さ、素晴らしさを感じた。暑い中の講演であったが生徒は終始集中し、いづどこで自分の身に降りかかるかわからない災害について知識を深めた。



生活指導講話



思わぬ危険は身近なところに潜んでおり、気付かないうちに事件に巻き込まれてしまうこともある。私たちはそれらを認識し避ける手段を持たねばならない。啓発活動の一環として本校では、外部講師を招いて生活指導講話を実施している。入学後すぐに行われる「交通安全教室」、五月は「S

NSのトラブルと薬物乱用防止」、七月には「十代の性について」、そして九月には「たばこの害について」である。それぞれの講話では、近年の実例を交えた具体的な説明が多く、高校生が関係する事件の多さに驚かされる。知っているようで知らなかったことも多く、講話を聴いて改めて身の回りの危険を認識した生徒たちは、気持ちをしっかりと引き締めていた。

国公立大学進学説明会

六月十六日・十九日に、国公立大学進学説明会が開催された。それぞれ講師を招き、約一時間半にわたり説明を受けた。一、二年生は受験方法と学力向上について、そして新しい入試制度について話があり、最新の大学入試情報や各学年で取り組むべき学習内容などの話を聞くことができた。特に、二年生は昨年と同じ先生

に話をいただき、一年間で自分がどのように変化したかを考えるいい機会になったようだ。三年生は、これから本格的に始まる受験に向けて、この夏をどのように過ごしていくかなどアドバイスをもらい気持ちを新たにすることができたようだ。センター試験、そして二次試験に向けて心を強く持ち、出来ない事を数

えるのではなく出来るようになったことを探して一歩一歩進んでいって欲しい。



選挙講座

七月十日に一年生を対象に本校第一体育館にて選挙講座が行われた。講師には、山形市選挙管理委員会事務局の方をお招きした。

まもなく選挙権をもつようになる生徒に、選挙の仕組みや投票の大切さを学習するための講座であった。講座は、プロジェクトを用い



ての選挙の仕組みや投票の仕方を座学で学習した後、生徒の中から選挙管理委員を選出し、模擬選挙を行った。実際の投票箱や投票用紙記入台を使用した模擬投票をすることで、生徒は投票の仕方をよく理解することができたようであった。この講座を通して選挙に関心

を持った生徒が多かった。十八歳で選挙権を持つようになるまでに、さらに社会に興味を持ち、選挙を通してより良い社会を築ける人間



になってもらいたい。

部活動報告

運動部

柔道部

・全国高等学校総合体育大会

66 kg級

出場 中川 勇斗(山辺中)

・東北高等学校総合体育大会

66 kg級

3位 中川 勇斗(山辺中)

・山形県高等学校総合体育大会

66 kg級

優勝 中川 勇斗(山辺中)

60 kg級

3位 田原 瑞起(山形九中)

・全日本ジュニア体別選手権

山形県予選

66 kg級

優勝 中川 勇斗(山辺中)

60 kg級

2位 田原 瑞起(山形九中)

・国民体育大会山形県予選会

60 kg級

2位 田原 瑞起(山形九中)

・全国高等学校総合体育大会

ピン級

出場 箭柏 風成(蔵王一中)

ライトフライ級

出場 氏家 一真(陵南中)

バンタム級

出場 垂石 優也(山辺中)

ライトウェルター級

出場 稲葉 翔(山形六中)

ウェルター級

出場 山口 純平(山形六中)

・東北高等学校ボクシング選手権大会

ライトフライ級

2位 氏家 一真(陵南中)

ライトウェルター級

3位 稲葉 翔(山形六中)

女子

フライ級

優勝 尾関奈津美(山形一中)

ピン級

2位 菅野 恵(赤湯中)

東北総合体育大会

ライトウェルター級

2位 稲葉 翔(山形六中)

バンタム級

3位 垂石 優也(山辺中)

ウェルター級

3位 山口 純平(山形六中)

・山形県高等学校総合体育大会

学校対抗

優勝 氏家 一真(陵南中)

ピン級

優勝 箭柏 風成(蔵王一中)

ライトフライ級

優勝 氏家 一真(陵南中)

バンタム級

優勝 垂石 優也(山辺中)

ライトウェルター級

優勝 稲葉 翔(山形六中)

ウェルター級

優勝 山口 純平(山形六中)

ピン級

2位 渡邊 拓真(山形十中)

ライトフライ級

2位 鈴木 寿治(山形六中)

フライ級

2位 古沢 貴大(楯岡中)

バンタム級
2位 新田 竜也(白鷹中)
フライ級
3位 鈴木 彪斗(楯岡中)
ライト級

3位 高橋 里季(河北中)
ライトウェルター級
3位 石島 康汰(山大附中)

ウェルター級
3位 菅原 大翔(山形十中)
ミドル級

3位 浅野目 瞬(東根二中)
女子
ピン級

優勝 菅野 恵(赤湯中)
フライ級
優勝 尾関奈津美(山形一中)

・国民体育大会・東北総合体育大会
山形県予選会

ピン級
優勝 箭柏 風成(蔵王一中)
ライトフライ級

優勝 氏家 一真(陵南中)
バンタム級
優勝 垂石 優也(山辺中)

ライトウェルター級
優勝 稲葉 翔(山形六中)
ウェルター級

優勝 山口 純平(山形六中)
ライトフライ級
2位 鈴木 寿治(山形六中)

ウェルター級
2位 菅原 大翔(山形十中)
ライトフライ級

3位 渡邊 拓真(山形十中)
ライト級
3位 新関 優斗(山形二中)

ライト級
3位 高橋 里季(河北中)

ライトウェルター級
3位 浅野目 瞬(東根二中)
男子ハンドボール部

・山形県高等学校総合体育大会

3位
女子
1-00M自由形

出場 加藤 優奈(天童四中)
2-00M自由形

出場 東海林のん(山形二中)
4-00M自由形

出場 東海林のん(山形二中)
4-00M自由形

出場 本間 美優(東根一中)
1-00Mバタフライ

出場 関 琴音(天童一中)
2-00Mバタフライ

出場 関 琴音(天童一中)
2-00Mバタフライ

出場 加藤 実来(大石田中)
4-00M自由形

出場 齋藤 実来(大石田中)
4-00M自由形

出場 齋藤 実来(大石田中)
4-00M自由形

出場 齋藤 実来(大石田中)
4-00M自由形

4-00M自由形
優勝 齋藤 実来(大石田中)
4-00Mバタフライ

2位 加藤 東海林・齋藤実・高梨
1-00Mバタフライ

2位 関 琴音(天童一中)
2-00M自由形

3位 東海林のん(山形二中)
4-00M自由形

3位 本間 美優(東根一中)
2-00M個人メドレー

3位 高梨由佳里(天童二中)
2-00M自由形

4位 関 琴音(天童一中)
5-00M自由形

5位 加藤 優奈(天童四中)
1-00M自由形

5位 加藤 優奈(天童四中)
1-00M自由形

6位 松浦 心叶(東根三中)
4-00M自由形

7位 本間 美優(東根一中)
山形県高等学校総合体育大会

男子
2-00Mバタフライ

2位 大江 奈知(山形三中)
2-00M背泳ぎ

2-00M自由形
優勝 東海林のん(山形二中)
1-00M背泳ぎ

優勝 松浦 心叶(東根三中)
1-00Mバタフライ

優勝 関 琴音(天童一中)
2-00Mバタフライ

優勝 関 琴音(天童一中)
2-00M個人メドレー

優勝 高梨由佳里(天童二中)
8-00Mバタフライ

優勝 加藤 東海林・齋藤実・高梨
4-00Mバタフライ

優勝 加藤 東海林・齋藤実・高梨
4-00Mメドレーリレー

優勝 松浦 高梨・関・加藤
4-00Mバタフライ

優勝 加藤 東海林・齋藤実・高梨
5-00M自由形

2位 加藤 優奈(天童四中)
2-00M自由形

2位 齋藤 実来(大石田中)
4-00M自由形

2位 齋藤 実来(大石田中)
4-00M自由形

2位 齋藤 実来(大石田中)
4-00M自由形

2-00M自由形
優勝 東海林のん(山形二中)
1-00M背泳ぎ

優勝 松浦 心叶(東根三中)
1-00Mバタフライ

優勝 関 琴音(天童一中)
2-00Mバタフライ

優勝 関 琴音(天童一中)
2-00M個人メドレー

優勝 高梨由佳里(天童二中)
8-00Mバタフライ

優勝 加藤 東海林・齋藤実・高梨
4-00Mバタフライ

優勝 加藤 東海林・齋藤実・高梨
4-00Mメドレーリレー

優勝 松浦 高梨・関・加藤
4-00Mバタフライ

優勝 加藤 東海林・齋藤実・高梨
5-00M自由形

2位 加藤 優奈(天童四中)
2-00M自由形

2位 齋藤 実来(大石田中)
4-00M自由形

2位 齋藤 実来(大石田中)
4-00M自由形

2位 齋藤 実来(大石田中)
4-00M自由形

- 少年男子A二〇〇Mバタフライ 2位 大江 奈知(山形三中)
- 少年男子B五〇M自由形 3位 佐藤 皓芽(山形三中)
- 女子
 - 少年女子A一〇〇M自由形 優勝 高梨由佳理(天童二中)
 - 少年女子A二〇〇M背泳ぎ 優勝 松浦 心叶(東根三中)
 - 少年女子B五〇M自由形 優勝 加藤 優奈(天童四中)
 - 少年女子B一〇〇M自由形 優勝 加藤 優奈(天童四中)
 - 女子四〇〇M自由形 優勝 加藤 優奈(天童四中)
 - 2位 関 琴音(天童一中)
 - 少年女子A一〇〇M自由形 2位 東海林のん(山形二中)
 - 少年女子A二〇〇M背泳ぎ 2位 高梨由佳理(天童二中)
 - 2位 東海林のん(山形二中)
 - 女子四〇〇M自由形 3位 東海林のん(山形二中)
 - 少年女子B五〇M自由形 3位 柴崎ひなた(天童三中)
 - 少年女子B一〇〇M自由形 3位 柴崎ひなた(天童三中)
- 男子テニス部
 - ・全国高等学校総合体育大会
 - 団体 出場
 - シングルス 出場 五味 一貴(山形六中)
 - ・東北高等学校テニス選手権大会
 - 団体 2位
 - シングルス 出場 五味 一貴(山形六中)
 - ダブルス 網代 凱(采沢四中)
- 女子テニス部
 - ・東北高等学校テニス選手権大会
 - 団体 3位
 - シングルス 3位 寒河江ひより(采沢七中)
- ゴルフ部
 - ・東北ジュニアゴルフ選手権競技
 - 4位 池田・工藤・中村
 - 団体 3位 山形県チーム (工藤・池田)
 - ・東北アマチュアゴルフ選手権大会
 - 出場 池田 太郎(酒田二中)
 - 工藤 大河(神町中)
 - ・山形県ジュニアゴルフ大会
 - 優勝 池田 太郎(酒田二中)
 - 3位 工藤 大河(神町中)
 - ・東北総合体育大会
 - 優勝 池田 太郎(酒田二中)
 - 3位 工藤 大河(神町中)
 - ・東北アマチュアゴルフ選手権大会
 - 出場 池田 太郎(酒田二中)
 - 工藤 大河(神町中)
 - ・山形県ジュニアゴルフ大会
 - 優勝 池田 太郎(酒田二中)
 - 3位 工藤 大河(神町中)
- 女子ハンドボール部
 - ・全国高等学校総合体育大会
 - 出場 高柳 飛鳥(天童三中)
 - 阿部 佑名(山形六中)
 - ・東北高等学校ハンドボール選手権大会
 - 出場 高柳 飛鳥(天童三中)
 - 阿部 佑名(山形六中)
 - ・東北総合体育大会
 - 3位 寒河江ひより(采沢七中)
 - 佐藤 可菜(山形三中)
 - ・山形県高等学校総合体育大会
 - 出場 高柳 飛鳥(天童三中)
 - 阿部 佑名(山形六中)
- ダンスドリル部
 - ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会
 - 2位 ノヴェルティ部門
 - ソングリーダー部門 s m a i l 編成 出場
 - P O M 部門 Med i u m 編成 2位
 - ・山形県高校放送コンテスト
 - 2位 テレビドキュメント部門
 - ラジオドキュメント部門 2位
 - 朗読部門 3位 柴崎 秀斗(山大附中)
 - ・NHK杯全国高校放送コンテスト
 - 出場 テレビドキュメント部門
 - ラジオドキュメント部門 出場
 - 朗読部門 出場 柴崎 秀斗(山大附中)
- 吹奏楽部
 - ・全日本吹奏楽コンクール
 - 山形県大会 金賞
 - 全日本吹奏楽コンクール 東北大会 銀賞
 - ・全国高等学校総合文化祭・放送部門
 - ピデオメッセージ部門 出場
- 文化部
 - ・全日本吹奏楽コンクール
 - 山形県大会 金賞
 - 全日本吹奏楽コンクール 東北大会 銀賞
 - ・全国高等学校総合文化祭・放送部門
 - ピデオメッセージ部門 出場
- 写真部
 - ・全国高等学校総合文化祭・写真部門
 - 山川 凛花(上山南中) 出場
 - 田中 日菜(山形一中) 出場
 - ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会
 - 4位 Med i u m 編成
 - 2位 ノヴェルティ部門
 - ソングリーダー部門 s m a i l 編成 優勝
 - P O M 部門 Med i u m 編成 2位

一輪車で世界一

七月二二日に静岡県で行われた全日本一輪車競技大会で二年生の石黒克樹君(酒田東部中)が四〇〇Mと障害物スプリントにおいて優勝した。その後、八月一日から九日に韓国の安山ワースタジアムで開催された世界大会 U N I C O N 19 の一〇〇M×四リレーにおいて世界一に輝いた。石黒君は「今回、初めての世界大会で練習の成果を出すことが出来た。次のイタリアで開催される世界大会でも優勝を目指したい。」と語り、世界一の喜びをかみしめながら、視線は次の世界大会を見据えていた。



毎日書道展 2年連続 毎日賞受賞 奥山秀則教諭

「第七十回毎日書道展」の受賞者が発表され、近代詩文書の部で、本校国語科の奥山秀則(秀山)教諭が二年連続で公募最高賞の「毎日賞」に選ばれた。受賞作は齊藤斎藤氏の短歌を六尺×二尺の紙に表現した。受賞について奥山教諭は、「二年連続の受賞ということで、驚きと恐縮の思いです。昨年に負けない作品づくりを目指しましたので、評価いただきうれしく思います。今後も自己研鑽に励み、精進いたします。」と語っている。

奥山教諭は昨年十一月に「日展」においても入選を果たしている。受賞作品は、東京での展示が終わり、十月三日から山形美術館で開催の「毎日書道展東北山形展」に展示される。



七月二二日に静岡県で行われた全日本一輪車競技大会で二年生の石黒克樹君(酒田東部中)が四〇〇Mと障害物スプリントにおいて優勝した。その後、八月一日から九日に韓国の安山ワースタジアムで開催された世界大会 U N I C O N 19 の一〇〇M×四リレーにおいて世界一に輝いた。石黒君は「今回、初めての世界大会で練習の成果を出すことが出来た。次のイタリアで開催される世界大会でも優勝を目指したい。」と語り、世界一の喜びをかみしめながら、視線は次の世界大会を見据えていた。

海外研修報告

理科(物理)教諭
得田志保

七月二十八日から八月二日までの二六日間、原子核物理、素粒子物理についての教育的知見を広めることを目的として、フランスとスイスを訪れた。中でも今回の訪問のメインとなったのは、スイス・ジュネーブにある世界的に有名な素粒子研究機関CERN(日本名・欧州原子核研究機構)で、八月五日から八月十八日の二週に渡って行なわれたITW2018(International Teacher Weeks Programme)への参加である。このITWプログラムは研究機関と教育現場を結びつけようと始まったもので、一九九八年から実施されている。毎年世界中から多くの高校物理教員が集まり、今年には三五ヶ国から四六名の参加があった。日本からは私一人の参加であった。年齢層は二五歳から五八歳までと幅広く、また意外にも女性の参加者が十七名と多かった。

CERNでは研究者やエンジニア、プログラマーなど多様な人々が協力しあい、人類、地球、宇宙の未だ謎に包まれている事象の解明に向け、素粒子やダークマター、反物質などの研究が盛んに行われている。研究には地下五〇m〜一五〇mに埋められたLHC(大型ハドロン衝突型加速器)と呼ばれる全長二十七km(直径八km)の円形の世界最大の加速器と、その加速器で生じた反応を読み取るATLAS、CMSといった検出器が用いられる。これらは二〇一二年に、物質に質量が生じる原因をもたらしといわれるヒッグス粒子の発見に大きく貢献している。またCERNは高度な分析技術やプログラミング技術を有しており、今では欠かすことの出来ないHTML形式文章やWorld Wide Web(WWW)、インターネットを利用する仕組みを生み出すなど情報通信分野でも偉大な功績を残している。



35ヶ国46名の物理教師達と@CERN

このような素晴らしい場所で行われたITWプログラムは、素粒子物理に関する知識を深めるための講義、最先端の研究に触れるための実験・研究施設への見学、テーマごとに分かれて行うグループワークであった。講義や日常会話は当然全て英語で行われ、最初の頃は聴き取るだけで精一杯であったが、このプログラムで出来た友人たちのお陰もあり二三日もすればなんとかっ

いていけるようになった。平日は講義、施設見学、グループワークで毎日予定が詰まっておき、まるで学生時代に戻ったような気持ちで日々を過ごした。プログラム最終日に行われたグループ発表では、英語で上手に説明できるのかと不安を抱きながら、パワーポイントを使ったプレゼンは大学院時代以来久しぶりということもあって緊張したが、無事に発表を終えることができた。発表後、グループのメンバーとハイタッチをしたことはとても良い思い出である。

大変濃い学びをさせてもらったが専門的な知識を得るばかりでなく、親睦を深めるために企画されたレクリエーションや休み時間、食事の時間、休日の遠出など、あらゆる場面で沢山話し、笑い、歌い、時には真剣に教育について討論をし、一生忘れることのできない大切なものを得ることができた。そしてITWプログラムを通して、物理の意外な新たな魅力を発見することができた。それは、お互いに国や年齢が違っていても物理を知っているだけで、新たな技術や製品、研究、身の回りで起こる現象について一緒に楽しみを共有できることである。プログラム期間中、物理ネタで何度も笑いが起きたのは面白い経験だった。また、英語の重要性についても再認識した二週間ではなかった。英語が母語話者ではない参加者がほとんどであったが、英語があるからこそ全員がコミュニケーションを取ることができた。また、ジュネーブ以外に訪れた街でも、店員は皆英語を話すことができ、文字がフランス語やドイツ語で書かれていても英語と表現が似たものであればなんとなく理解できた。やはり、英語は最大の武器になるのだと強く感じた。



大変貴重な機会を与えてくださった学校とCERN、ITW2018の企画者Joh Wiener氏、そしてITW2018で出会った四十五人の仲間たちに、この場を借りて心から感謝を申し上げます。

柔道部
ボランティアで活躍!!

八月三十日の山形県北部を襲った豪雨に伴い、床上浸水した家屋の復旧ボランティアとして本校柔道部十一名が九月二日、戸沢村蔵岡地区に向向き、精力的に働いた。

当日は床上浸水した家屋から家財道具を部屋から外に運ぶ作業や、床下にたまった泥を運び出す作業を中心に行った。ニュースなどで見ていた被害と、実際に目で見ると被害には大きな差があり、部員たちは黙々と作業にあたった。住民からは感謝の言葉をかけられ、人と人の繋がり大切さをひしひしと感じてきた。

- 平成30年度 特待生 奨学生 決定**
- 日本大学付属高等学校 特待生
- 黒沼 南帆(大石田中)
 - 南幅 大空(山大附中)
 - 大津 優花(山形四中)
 - 高橋駿太郎(山大附中)
- 日本大学山形高等学校 奨学生
- 阿部 真珠(酒田東部中)
 - 阿部 有希(山形一中)
 - 須貝 祐也(上山南中)
 - 佐々木 巖(山形六中)
 - 土屋 実優(天童四中)
 - 齋藤 瑞山形(山形一中)
 - 小林 杏(山形四中)
 - 安達 太亮(東根二中)
 - 市村 夏希(山形五中)
 - 高松 大暉(天童一中)
 - 大沼 裕介(天童一中)
 - 佐藤 輝幸(神町中)
- 日本大学山形高等学校 コカ・コーラ育英奨学生
- 阿部 一亜(福原中)
 - 藤田 恭大(神町中)
 - 松田 瑞希(山形五中)
 - 小山田航佑(河北中)
 - 大西 未准(山形六中)
 - 須賀川琴音(河北中)

ケンブリッジ語学研修

七月十八日〜八月四日、イギリスのケンブリッジ大学ペンブルックカレッジにて、日本大学付属高校生のための語学研修が実施された。日本大学では、全国の付属高校生を対象に「サマー・プログラム」と「イースター・プログラム」を毎年実施している。現地の学生だけでなく、普段交流する機会の少ない日本大学付属高校生同士の親睦も深める研修となり、生徒たちは充実した日々を過ごした。



ケンブリッジの学生とともに
中央左が阿部さん

確かな一歩

一年十組 阿部 有希
(山形一中)

「英語は話すもの。」これが今回のサマープログラムで一番実感し、考えさせられたことです。このように感じた大きな要因となった、実際の授業で印象深かったことを二つ挙げます。一つ目は、英語はただ文法を理解して単語ごとに話すもので

今回のケンブリッジ語学研修は、本当にこれまでにない新鮮な日々ばかりで、貴重な人生経験になりました。この貴重な経験を、未来の自身の成長に活かしていきたいです。

研修を通して変わる自分

一年十一組 阿部 一亜
(福原中)

私は語学研修生徒の一員として、この夏、付属高校生のサマープログラムに参加し、ケンブリッジ大学ペンブルックカレッジで、十八日間過ごしてきました。この研修を通じて、英語力をさらに身に付けたいということも目標の一つとしてありましたが、自分の内気な性格を治したいということも主な目標として参加しました。

最初は不安な気持ちでいっぱいでした。ですが、日が経つにつれ、他の付属高校生とも打ち解け合い、授業の内容もより明確に理解することができていきました。授業では「英語以外の言語を喋っ

てはならない」というルールがありました。ゲーム形式や演劇を行うなどの実践型の授業で、楽しく英語を学びました。また、P A アクティビティというP A (プログラム・アシスタント) が用意してくださった放課後の活動では、現地の学生との交流を深めました。このような経験を通じて、日本とは違うイギリスの文化に触れることができました。

今回の語学研修で、内気な性格を少しは克服することができたと感じています。そして、英語力を鍛えることもでき、今回の語学研修に参加して本当に良かったです。この経験を、これからの高校生活に活かしていきたいです。



ケンブリッジの学生に囲まれて
中央が阿部くん

平成30年度
日本大学
付属高校生
サミット

今年度の日本大学付属高校生サミットが、八月一日から三日まで、長野県軽井沢町にある日本大学軽井沢研究所で開催された。生徒会役員の生徒が一堂に会し、情報交換・共通認識の深化・企画の具現化を目指すものである。

今年度のテーマは「共生の力」。私たちはどう生きるのか。参加生徒を四つのグループに分け意見交換し、考えをまとめ発表した。

三日間という短い時間の中での交流を通じ、さまざまな考えに触れたことは、参加生徒のリーダーとしての資質を高める有意義な研修となった。

二年 安達 なつみ

(山形九中)

話し合いの中では、被災された方との共生、高齢者や障がいを持たれている方との共生、自然環境との共生、二〇二〇年に開催される東京オリンピックを見据え外国の方との共生など、さまざまな「共生」について意見交換をしました。プレゼンテーションに向け各グループがそれぞれ一つに絞って話し合いは、よい経験になりました。三日間を通じ、共に学ぶことができる嬉しさや絆を感じることができました。

二年 加藤 虹子

(山形四中)

四つのグループに分かれ話し合ったのですが、どのグループも発表内容が重ならず、多くの視点から意見が出されたことに驚きました。また、たんより活発な話し合いに圧倒されました。三日間の討議の結果、共同声明は「学んで伝えるイマ」とミライに!!に決定しました。この共同声明もふまえ、本校生徒会の発展に努めたいと思います。

二年 富沢 碧

(新庄中)

私は不安や緊張を抱えての参加でした。初対面の人たちと関わる中で、しつかりと自分の意見を出せるかと思いましたが、すぐにいろいろな話でできました。テーマも難しものではないですが、さまざまな観点から考え、多くの意見を提示できました。グループ発表においても話し合いを凝縮した中身の濃いものとなりました。三日間、有意義な時間を過ごすことができました。よかったです。



学校説明会

全体説明と個別相談・校舎見学・部活動見学

期日	会場及び時間
第1回 平成30年10月7日(日)	受付 9:20~ 9:55
第2回 10月21日(日)	説明会 10:00~11:20 (第1体育館)
第3回 11月11日(日)	以下は希望になります。
第4回 11月23日(金・祝日)	個別相談 11:20~
第5回 12月16日(日)	校舎見学 11:20~12:00(予定) 部活動見学 11:20~12:10(予定)

※上記以外の期日に学校参観を希望なさる方は、お電話の上ご来校ください。
※部活動見学については、学校説明会前にお問い合わせください。
(023-641-6631) 担当/橋本・田中

※学校説明会では、学校生活全般、並びに入試に関する詳しい説明をいたします。
※事前のお申し込みは必要ありません。上履きをご持参ください。

第20回 桜華同窓会総会・懇親会開催

平成30年7月7日、パレスグランドにて桜華同窓会総会が開催された。



20回の記念大会ということで、参加人数も600名を超える過去最大の規模で盛大に行われた。

実行委員会をはじめとする日大山形のOB・OGの尽力のおかげで、恩師・旧友と語り終始和やかで楽しい会であった。

また、本校ホームページに桜華同窓会Facebookのリンクがあります。是非ご覧ください。

フオト・ア・ラ・カイト



体育祭



体育祭



新聞の読み方講座



壮行式



県議会での意見交換会



プランターの整備



桜華祭



べえさんの特別講演（桜華祭）

日本大学山形高等学校広報部
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五
電話 〇二三一六四一一六六三一(代)
FAX 〇二三一六四一一六六三四
URL <http://www.yngt.hs.nihon-u.ac.jp>
印刷 (株)大風印刷
写真提供 (有)カメラの石山

編集後記

二年後、日本にオリンピックがやってくる。着々と準備が進む中、東京オリピックのマスコットの名が決まった。その名は「ミライトワ」。由来は「未来と「永遠」。すばらしい未来が永遠に続くようにという思いが込められたそうだ。未来は予知できるものではない。これほど不確かなものはないのかもしれない。「昨日はヒストリー、明日はミステリー、今日という日は贈り物。だから現在にはプレゼント。」という言葉がある。私たちは過去を生きて、未来の私を夢見て、今を生きていく。一瞬先は未来でありミステリーなのだ。明日何があるかわからない、遠い未来に夢が叶うかもしれない。だからこそ人生は面白く素敵なものだ。一度しかない高校生活。「未来は今始まる、明日始まるのではない。頑張れるときは今しかないのである。そして、その一つ一つが過去となり、道となり、すばらしい未来への扉へ向かわせてくれる。三年後の自分を思い描き、今を大切にしていこうではないか。